



やさしい時間

校長 大澤 禎一

早いもので1月も終わり、今日から2月。時の流れの早さを感じます。緊急事態宣言の下、ご家庭では引き続き、不要不急の外出の自粛とともに、お子様には毎日の検温、手洗い・うがいの励行、マスク着用のご協力をお願いいたします。

さて、ある時計メーカーの新聞広告に目が留まりました。「そのすべての瞬間が、やさしい時間であったなら。」

時間は誰にでも平等で、その時間は誰かを傷つける時間ではなく、誰かと笑い合う時間であってほしい。その時間は自分を責める時間ではなく、自分をいたわる時間であってほしい。その時間をどう過ごすか、どんな時間にするかは自分の気持ち次第なのかもしれません。怒ったり、責めたりする時間ではなく、誰かを励ましたり、誰かと笑ったりする時間であってほしいと思います。これから成長していく子どもたちに、励ましの言葉をかけたり、いっしょに笑い合ったりする。そんなやさしい時間を過ごしていけたらと思います。それがたった一瞬の時間であったとしても。ご家庭でも、やさしい時間が積み重なることを願っています。

残り少ない今学期も本校の教育活動に対しまして、ご理解ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

やさしい時間

たくさんの方が、私たちを隔てようとしている世の中で、もしかしたら時間だけが、誰にでも平等なものかもしれないと思う。遠く離れたあなたとあなたをつなげられるものかもしれないと思う。だとしたら、そのすべての瞬間が、やさしい時間であったなら。その一分は誰かを傷つける一分ではなく、誰かと笑い合う一分であってほしい。その一秒は自分を責める一秒ではなく、自分をいたわる一秒であってほしい。理想論かもしれない。平和すぎる話なのかもしれない。でも。そのやさしい一分一秒が積み重なることで、この世界はやさしさを少しずつ獲得できるのではないだろうか。

なぜなら時間とは、あなたそのものなのだから。

(時計メーカー創業140周年広告より)



城山っ子のみなさんへ

今回は「ま」がつくことば「まとめをする」というお話です。「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」という言葉があります。毎日がとっても早く過ぎていくことを例えた言葉です。それぞれの学年の最後の仕上げをする3学期。今までの学習や生活を振り返り、がんばったことは何か、できるようになったことは何か確かめてみましょう。まだ十分でないことに力を入れて、進級・進学に向けて1年のまとめをしましょう。



がんばったことは？

できるようになったことは？



十分でないことは？

1年のまとめをしよう

あいさつの木 ～生活委員会の活動

生活委員会では、1月25日（月）～29日（金）を「あいさつ週間」とし、各クラスで「あいさつの木」を育てる活動を行いました。登校して、会った人に自分からあいさつができれば、あいさつの木に緑のシールをはります。朝から校舎内のさまざまな場所で「おはようございます！」の音が響いています。互いにあいさつを交わすと、マスク越しでも、笑顔になっていることが分かります。

緑の葉がしげったあいさつの木を見ると、またあいさつをしようという気持ちになります。

生活委員会では、外にもトイレのスリッパの整頓を呼びかけたり、毎週金曜日に昇降口であいさつ運動を行ったりしています。



全国学校給食週間 ～給食委員会からの放送

1月25日（月）～29日（金）は全国学校給食週間でした。名古屋コーチンのとりすき、みそカツ、きしめん、尾張旭の冬野菜スープなど、愛知県の郷土料理や尾張旭市でとれた野菜や果物が数多く登場しました。給食の時間に、給食委員からメニューについての解説が放送され、いつもと一味違うひとときとなりました。



火災を想定した避難訓練

1月13日（水）、火災を想定した避難訓練を行いました。子どもたちは、緊急事態が発生したときには、先生や放送の指示に従い、慌てずに落ち着いて行動することや、火事の場合は、煙を吸い込まないようにハンカチで口と鼻を覆い、すみやかに避難することを確認しました。運動場のコンディションが悪い中、静かに素早く避難することができました。火事は、一瞬にして何もかも奪ってしまいます。子どもたちには、火の怖さを知ってほしいと思います。火遊びは絶対にしないことをご家庭でもお話してください。



学校評価へのご回答は2月3日（水）が締め切りです



1月21日付けの文書及び22日付けのメール配信で「保護者による学校評価」のお願いをしました。すでに数多くの方にメールでご回答いただいております。皆様のご協力に心より感謝いたします。紙での回答を希望される方は学校までご連絡ください。回答の締め切りは2月3日（水）です。